

令和5年度一般会計決算の概要

資料2

※ () 内は主要施策報告書のページ

1. 決算の状況 (P3, P4, P5)

| | |
|--------------|--------------|
| 歳入決算額 | 24,997,740千円 |
| 歳出決算額 | 24,129,585千円 |
| 歳入歳出差引額 | 868,155千円 |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 | 505,433千円 |
| 実質収支額 | 362,722千円 |

○歳入

市税全体で2.1%の減、交付税は、普通交付税が3.6%増、特別交付税が2.0%増となり、地方交付税全体で3.4%の増です。また、国庫支出金が10.3%の増、県支出金が11.9%の増、市債については臨時財政対策債が80.0%減となったものの、投資的経費の増加に伴い全体としては25.6%の増となるなど、歳入全体としては、前年度比6.0%の増となりました。

○歳出

物価等高騰対策として、地方創生臨時交付金を活用して電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業、キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーン事業などを実施し、市民生活や市内事業者への支援を行いました。また治水対策として緊急浚渫推進事業債を活用して河川維持補修事業やため池等整備事業などに集中的に取り組んだほか、ゼロカーボンシティの実現に向け、脱炭素化推進事業債を活用して公共施設等の照明設備改修事業を行い、二酸化炭素排出量の削減を図りました。その他、都市基盤整備として、各路線の道路整備等のほか、令和6年6月供用開始となった小郡鳥栖南スマートICの設置関連事業や大保駅北歩道整備事業などを実施しました。

歳出全体では、前年度比5.9%の増となりました。

2. 市債と基金の状況 (P6)

(単位：千円)

| | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 地方債残高 | 18,495,912 | 18,461,298 | 18,199,153 | 17,328,416 | 16,689,119 |
| うち臨時財政対策債 | 9,553,956 | 9,490,218 | 9,439,831 | 8,894,523 | 8,124,081 |
| 基金残高 | 2,907,891 | 3,910,625 | 5,362,968 | 5,964,949 | 6,667,664 |
| うち財政調整基金 | 1,440,992 | 2,083,612 | 3,559,497 | 4,057,357 | 4,499,039 |

地方債残高は、前年度末より約6億4千万円の減となりました。

基金は、財政調整基金残高が約4億4千万円増えるなどしたため、全体の基金残高は前年度末より約7億円増加しました。

3. 主要指標の状況 (P9, P10)

| | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 経常収支比率 | 98.5% | 97.0% | 91.4% | 92.9% | 94.9% |
| 実質公債費比率 | 9.1% | 7.8% | 8.0% | 7.5% | 6.8% |
| 将来負担比率 | 41.5% | 23.6% | 18.7% | 4.0% | - |

財政の弾力性を示す経常収支比率は、前年度より2.0ポイント悪化し94.9%です。歳出における物件費、人件費などに要した経常的一般財源の増などが主な要因です。

財政健全化判断比率は、いずれの比率とも早期健全化基準内です。実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字決算のため算定されておらず、実質公債費比率は、昨年度から0.7ポイント改善し6.8%、将来負担比率は、充当可能財源が増加したため算定されていません。

◎特別会計

(単位：千円)

| 区 分 | 歳 入 | 歳 出 | 差 引 | 翌年度へ繰り越すべき財源 | | | | 実質収支 |
|--------------|-----------|-----------|---------|------------------|-------------------|-------------------|---|---------|
| | (A) | (B) | (A)-(B) | 継続費 通次 繰越額 | 繰 越 明許費 繰越額 | 事 故 繰 越 繰越額 | 計 | |
| 国民健康保険事業特別会計 | 5,769,780 | 5,524,428 | 245,352 | | | | | 245,352 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1,092,634 | 1,060,757 | 31,877 | | | | | 31,877 |
| 介護保険事業特別会計 | 4,597,019 | 4,551,395 | 45,624 | | | | | 45,624 |
| 工業団地整備事業特別会計 | 8,300 | 0 | 8,300 | | | | | 8,300 |